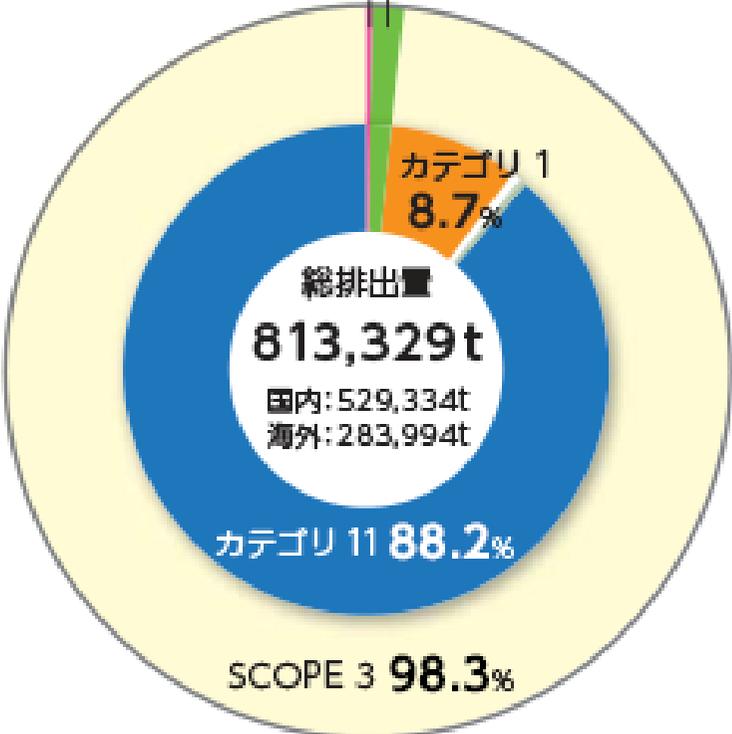


エスペック株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：製造業（環境試験器）● 事業概要：環境試験器の製造・販売・メンテナンス・受託試験● 事業規模：売上42,443百万円（2019年3月時点） 従業員数1,512人（2019年3月時点）
2.削減目標案	<p><Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み> Scope1・2に関して、2018年度を基準とした2030年の削減目標について検討。 例：国内主要事業所での再エネ化推進、全社的な省エネ推進</p> <p><Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み> Scope3に関して、2018年を基準とした2030年の削減目標について検討。 例：製品の省エネ性能向上、低GWP冷媒の採用</p>

エスペック株式会社

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : 3,433[tCO₂]
	 <p>SCOPE 1 0.4% SCOPE 2 1.3%</p> <p>カテゴリ 1 8.7%</p> <p>総排出量 813,329t 国内: 529,334t 海外: 283,994t</p> <p>カテゴリ 11 88.2%</p> <p>SCOPE 3 98.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 10,635[tCO₂] ※マーケットベース
		<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : 799,261[tCO₂]

エスペック株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<p>〔主なリスク ※抜粋〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 製品のエネルギー効率基準、HFC使用量・排出量規制などが厳格化されることによって、規準を満たさない製品が市場に受け入れられなくなるリスク ● 異常気象の増大によって部品調達、製造・サービスの提供に影響が出るリスク <p>〔主な機会 ※抜粋〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 環境配慮技術を開発されているお客さまへの製品・サービス提供による貢献 ● 低GWP搭載製品のいち早い市場投入 ● 最新の国際規格・規制、各国の試験規格に対応した受託試験サービスの提供
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> ● 2030年に向けた環境目標についてSBTを参考にしてCO2削減目標に活用する。 ● 気候変動対策に積極的に取り組み、脱炭素社会に向けた新しい技術開発によるビジネスチャンスにつなげるとともに、顧客や投資家からの信頼を得て社会に貢献をしていく。

エスペック株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 環境部門で目標案を検討、全社環境管理委員会で経営層に説明を実施。社内コンセンサスを得て次期環境中期計画として、SBTイニシアチブを計画。● 目標の実現可能性を含めて、社内で議論している。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● Scope1・2削減の施策として、生産工程の省エネ化や再エネの積極的な調達を進めることが重要。● Scope3の大部分を占めるカテゴリ11「販売した製品の使用」とカテゴリ12「販売した製品の廃棄」でのCO₂削減に向けた取り組みが必要と想定している。